

月刊



湖国が滋る・水と緑の街づくり

令和2年3月1日発行 通巻290号
昭和40年8月21日第3種郵便物認可
発行/公益社団法人 滋賀県建築士会
〒520-0801
滋賀県大津市におの浜1-1-18 建設会館3F
TEL077-522-1615 / FAX077-523-1602

URL : <http://www.kentikushikai.jp/> mail : shiga-sa@mx.bw.dream.jp

CONTENTS

- 女性委員会 2
女性委員会主催 全員会議
開催のご案内
- 渉外事業委員会
「改正民法が建築士に与える影響等
に関する説明会」のご案内
- 渉外事業委員会
「総合図作成ガイドライン」
解説講習会のご案内
- ヘリテージマネージャー
活用推進委員会 3
令和元年度「滋賀県ヘリテージ
マネージャー上級講座」修了する
- 総務企画委員会 4
令和元年度 二級・木造建築士免許証
明書交付式 開催報告
- 青年委員会
次世代育成事業『紙の力』
～君も未来の建築士～ 事業報告
- まちづくり委員会 5
2019年第10回 高校生の「建築甲子園」
報告 課題:燃える!建築甲子園 “地
域のくらしーこれからの地区センター”
- ポリテクカレッジからのお知らせ... 6
地区別会員数
3月の暦
滋賀 万葉の旅 第10回
—額田王の長歌—



— 額田王の長歌 —

冬ごもり 春さり来れば 鳴かざりし 鳥も来鳴きぬ さかざりし 花もさけ
れど 山を茂み 入りても取らず 草深み 取りても見ず 秋山の 木の葉を
見ては もみぢをば 取りてぞしのぶ 青きをば 置きてぞ嘆く そこし恨め
し 秋山われは

四十路で天智天皇に嫁いだ額田王が、夫婦円満の秘訣を詠んだという説もあるようです。
昭和60年(1985年)に建立された、近江と関係が深い額田王の長歌(第1巻16番)の歌碑があり
ます。この歌碑は、渡辺住職がご自身の著書「万葉集の時代」の発行2万冊を記念に建立さ
れたもので、額田王の長歌の歌碑は非常にめずらしく、万葉集に興味のある方が多く訪れら
れるとのこと。

女性委員会

女性委員会主催 全員会議 開催のご案内

平素は、女性委員会活動及び事業に対し、ご理解とご協力を賜りましてありがとうございます。

今年度も女性委員会主催 全員会議を開催いたします。

「女性委員会の活動を広く周知し、会員の皆さんに共有して頂き、賛同・協力できる強固な仲間作り」、「魅力ある女性委員会活動を計画・実施することで会員増強に努めること」を目的として開催致します。

性別、年代に関わらず、会員の皆さんのご参加をお待ちしています。

開催日時：令和2年3月20日（金・祝） 10：00～12：30

開催場所：平岡家（滋賀県甲賀市信楽町長野516-28）

駐車場有（13台） 信楽駅より徒歩10分 信楽駅より送迎車有

※会議の前に、信楽の散策を行います。子供連れ歓迎します。

※お申込みは、公益社団法人 滋賀県建築士会事務局 077-522-1615 までお願いします。

渉外事業委員会

「改正民法が建築士に与える影響等に関する説明会」のご案内

実施機関：公益社団法人 日本建築士会連合会 公益社団法人 滋賀県建築士会

知事指定：滋賀県知事指定（令和2年3月予定）

受講対象者：設計・施工・設備・構造等の建築士および建築技術者（施工系・設備系）

開催日時：令和2年3月26日（木） 9：30～11：50（受付 9：10～）

開催場所：建設会館3F 中会議室

受講料：一般（非会員） 3,000円（テキスト代、消費税含む）

建築士会会員 2,000円（テキスト代、消費税含む）

C P D：2単位（建築CPD情報提供制度 認定講習とします。）

申込締切：令和2年3月19日（木）

申込方法：別紙封入物をご覧ください



渉外事業委員会

「総合図作成ガイドライン」解説講習会のご案内

実施機関：公益社団法人 日本建築士会連合会 公益社団法人 滋賀県建築士会

知事指定：滋賀県知事指定（令和2年3月予定）

受講対象者：設計・施工・設備・構造等の建築士および建築技術者（施工系・設備系）

開催日時：令和2年3月26日（木） 13：20～14：55（受付13：30～）

開催場所：建設会館3F 中会議室

受講料：一般（非会員） 5,000円（テキスト代、消費税含む）

建築士会会員 4,000円（テキスト代、消費税含む）

C P D：2単位（建築CPD情報提供制度 認定講習とします。）

申込締切：令和2年3月19日（木）

申込方法：別紙封入物をご覧ください



令和元年度「滋賀県ヘリテージマネージャー上級講座」修了する

(公社) 滋賀県建築士会ヘリテージマネージャー活用推進委員会

滋賀県ヘリテージマネージャー実行委員会(日向進委員長)が主催し、当委員会が運営協力を行って実施しました。令和元年度「滋賀県ヘリテージマネージャー上級講座」は令和2年1月25日の第5回講座をもって無事修了することができました。

今年度の上級講座はHM育成講座修了者(滋賀県ヘリテージマネージャー)を対象にスキルアップを目的とした講座として実施しました。今回の講座は旧東海道第四十九番目の宿場であり街道景観が残る甲賀市土山町旧東海道中心地を講座の対象地として、旧東海道沿いの歴史的建造物と旧東海道の町並みを対象に五回の講座を開催しました。今回の講座は現地踏査、建物実測調査、東海道士山宿の歴史講義、滋賀県内の町並み・建物を学ぶ講座を各回行うと共に、今回講座の中心である現地での調査研究は、建物調査3グループ、町並み調査1グループの4班に分かれて実施し、現地調査から調査報告書作成までを約4か月にわたって行いました。1月25日の最終回(第5回講座)では調査対象建物所有者、地元住民の方々、町並み保存活動団体の方々にもご参加いただき調査報告書発表会を開催し、旧東海道士山宿に残る建物と街道景観の歴史的価値と今後の保存活用の重要性について各グループから発表しました。この調査報告書はこの後建物所有者並びに地元関係者の方々に引継ぎ、今後の宿場景観・歴史的建物の保存活用に役立てていただく予定をしております。

次年度以降も土山の方々や地元行政の方々と共に建物保存・街道景観保全に関わって行く予定であります。滋賀県内のヘリテージマネージャーの皆様方をはじめ建築士会会員の方々のご協力とご参加をお願いいたします。

今回の上級講座では多くの講師の先生方、地元住民の方々、とりわけ調査対象建物として快くご協力を賜りました建物所有者の皆様方には厚く御礼を申し上げます。



第1回講座(講師:伊藤氏)



第2回講座(講師:大野教授)



第3回講座(講師:大場教授)



第4回講座(中間報告会)



第5回講座(調査報告発表)



調査建物(旧土山本陣)



調査建物(松山家住宅)



調査建物(大原家住宅)



土山宿の街並み

令和2年2月8日(土)滋賀県建設会館4階大会議室において、(公社)滋賀県建築士会の主催で執り行いました。今年も、二級建築士71名(総受験者数238名)木造建築士12名(総受験者数36名)の方が免許を取得されました。県内を中心に35名の参加を得て、山本会長に依る免許証明書交付式が行われました。新建築士の旅立ちに、滋賀県土木交通部建築課課長の田村衛氏の臨席を賜り、建築課の藤原氏に依る「建築士の手引びき」をもとに建築士の心構えについて、建築指導室の栗田氏に依る「応急危険度判定」の案内および耐震診断員の説明をいただきました。建築士会の案内もさせていただき、今年は名刺ペンゴゲームで盛り上がりました。多くの新しい建築士会員が生まれ、一緒に活動できる事を期待したいと思います。

【県内総受験者数】について

二級建築士試験：学 科 県内実受験者数 = 238名 合格者 = 116名
 ：製 図 県内実受験者数 = 148名 合格者 = 71名
 合格率：滋賀県 47.97% 参考 全国平均46.3%

木造建築士試験：学 科 県内実受験者 = 36名 合格者 = 20名
 ：製 図 県内実受験者 = 19名 合格者 = 12名
 合格率：滋賀県 63.16% 参考 全国平均59.4%



会長の言葉に耳を傾ける新建築士たち



代表者への免許証明書の交付

1月30日近江八幡市桐原小学校にて、次世代育成事業『紙の力』～君も未来の建築士～を開催いたしました。建築士の仕事内容の紹介・建築クイズ等スライドを使った授業の他、熊本地震の際に現地で応急危険度判定に参加された福原委員長からの体験談、CADを实际使用しての住宅の図面作成等を行いました。授業中は、児童が積極的に手を挙げ発言をしてくれ、とても盛り上がりました。

その他に、委員が所属している企業様が行われている映画・ドラマの撮影に使用する撮影セットの紹介を行い、普段テレビで見ているものにも『建築』が関わっているという事を伝えました。

スライド授業のあと、チームに分かれ工作紙を用い決められたルールの中で、構造体を作成してもらいました。作成した後、構造体にアクリル板を載せ構造体が潰れるまで児童が何人乗れるかといった体験授業を行いました。出来上がった構造体は児童達の発想が豊かで各チーム様々なものが出来上がりました。実際に児童が構造体の上に乗る場面になるとすぐ潰れそう等不安の声が聞こえましたが、他のチームの声援を受けながらも挑戦し、笑顔が多く楽しそうに取り組んでる姿が見れました。

事業後は竣工から3年ほどということもあり、教頭先生のご厚意により校舎案内をしていただきました。コミュニティセンターと小学校の統合施設の関係性や新しい学習スタイルを实际に見せて頂きとても勉強になりました。

後日児童から、楽しかった・建築に興味をもった・建築士を目指したい等のとても嬉しい感想をもらう事が出来ました。今回の事業を通じ、児童にとって『建築』という仕事を知る一つのきっかけとなれたと思います。ご協力いただいた建築士の皆様ありがとうございました。

青年委員会 初古健一(彦根地区)



会場で集合写真



熱心に建築士と製作する児童たち

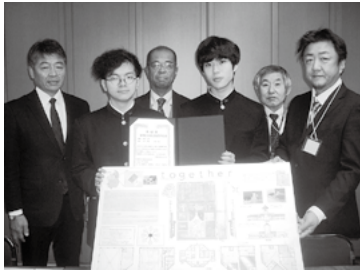
2019年第10回高校生の「建築甲子園」報告

課題:燃えろ!建築甲子園“地域のくらし—これからの地区センター”

主催:公益社団法人日本建築士会連合会

滋賀県予選推薦
次点

連合会奨励賞 滋賀県立彦根工業高等学校建設 『together』
滋賀県立安曇川高等学校総合学科建築デザイン系列 『風と土と種と』



彦根工業高等学校にて奨励賞受賞式



彦根工業高等学校 作品



安曇川高等学校 作品

去る2月10日(月)表彰伝達に当会より滋賀県立彦根工業高等学校を訪問しました。

受賞された選手(3年生お二人)、監督(指導教諭)、学校長にご対応いただきました。

おめでとうございます。

将来、滋賀県建築士会を担っていただけるお二人は、夏休みを返上して取り組んでいただけたそうです。

川崎学校長も服部指導教諭もかつて岡野審査委員長の指導をお受けになられた方で総評は我が事のごとく受け止めてくださったそうです。

今後も県内高校生の頑張りに期待し、応援していきたいと思えます。

～推薦作品評～ 滋賀県予選 審査委員長 岡野 睦

第10回の建築甲子園を迎え、滋賀県下の工業高校建築系の学科の消滅により、応募が危ぶまれる中、建築系のコースを持つ2つの高校から応募があったことは喜ばしい限りである。

テーマも『燃えろ!建築甲子園“地域の暮らし”、そしてサブテーマも“これからの地区センター”と設定され、今まで以上に挑戦者にとってはソフト面(社会の変化や様々な機能変改等の対応)、勿論ハード面(箱物のデザイン)をどのようにとらえるかが課題となろう。その意味で、今回は今まで以上に興味深く審査を試みた。ただ、両校共にコース選択であり、ソフトやハード面でどの程度、カリキュラム上の弱点をカバー出来るかという興味もあった。

さて、今回の作品は『together』、『風と土と種と』の2作品が出品されたが、前者は地元の偉人山岡孫吉氏(ヤンマーディーゼル創業者・長浜市)とドイツ・アウグスブルグ市の出会いと、彼の地(姉妹都市)との友好関係を発展させ、伝統的な景観・雰囲気再現し、観光客や若者を巻き込んだ商業施設を含む地区センターを提案しようとしている。一方、後者は地元高島市の観光ランキング1位のメタセコイヤ並木を背景に過疎化する街を、地域住民・移住者・観光客が一つになって地域を作り上げていく地区センターの提案である。

両者ともにテーマの理解度・具体性・独創性は申し分ないが、社会的な課題(ソフト面)の解決方法がややもの足りないように思える。特に、前者はアウグスブルグの景観と商業施設・後者はメタセコイヤと地元産業と人を集める手段は良い。しかし、地区センターとしての機能に拘わるソフトの部分の提案をもっと打ち出す事も出来たのではないかと。前者で言えば国際的な交流の場、後者で言えば景観の中の建物としての交流の場の中で、それぞれの発見と出会いをもう少し具体的に表現出来たらと思われる。

また、建築系コンペでは箱物デザイン等(ハード面)も重要なポイントの一つである。その力量は既存の建物の再利用か、新たに計画するかも大きく左右されるだろう。今回の2作品は、ともに新しく計画を試みている。しかし、プランの自由度は高いだけに、かえってハッとさせるものが必要となるであろう。前者はそれぞれのゾーンの配置に気を配っている様子が読み取れるが、細部へのこだわりが強過ぎた嫌があり、例えば細かい店割り等から一歩引いて商業ゾーンの扱いをすればもっと見やすい作品になったような気がする。一方、後者はメタセコイヤ並木の景観を生かすガラスをメインにしたプランは工夫の跡が見える。しかし、反対に平面での細部の表現、例えば展示・実演のブースの大きさ・プラン例・その利用方法等細部への配慮がもう少し有れば、もっと図面に説得力が出てくるように思える。その意味で両者とももう一工夫があっても良かったのではないかとと思われる。

なお、プレゼンテーションから見れば、前者は手描き・模型写真等昔ながらの手法を、後者はコンピュータを駆使し、それぞれ努力の跡が見えるが、描き過ぎや図の大小等作品全体へのバランスへの配慮が今ひとつの感じがする。コンペではサッと見るだけで理解できる事も大切で有り、分かり易い図・文字、バランスの良い空間の配置も大切でもある。また、長い文章より簡単なイラスト・タイトル・コメントなどを有効に駆使すれば作品を引き立たせてくれるだろう。

以上、苦言ばかりを並べた審査評となってしまったが、当然2作品共優れている箇所も多々あり甲乙付けがたく、議論も伯仲したがテーマに対する期待を膨らませる具体性・独創性そして創作努力を認め、作品『together』を滋賀県の代表に決定した。

最後に、第10回の建築甲子園で滋賀県の代表作品が、再び上位入賞を果たす事を願うと共に、今回の建築甲子園へ挑戦された両校の諸君に、その努力に敬意を表し、この経験を今後の糧とし、なお一層の精進されることを期待している。

滋賀職能大からのお知らせ



令和2年度 能力開発セミナーのお知らせ（4、5月開講分）

| コースNo. | コース名 | 受講料 | 定員 | 実施日 |
|--------|---------------|---------|----|---------------|
| CH011 | 木造住宅の基本計画技術 | ¥10,500 | 10 | 4/18(土)、25(土) |
| CH021 | 住宅基礎の構造設計実践技術 | ¥10,000 | 10 | 5/16(土)、23(土) |

講座内容等については、「滋賀職能大」で検索、「在職者・事業主の皆様へ」からご確認ください。
各講座ともCPD認定プログラム申請コースです。
お申し込みは各コースとも開始日の1カ月前までです。お早めにお申し込み下さい。
(詳しくは右記QRコードをご利用ください)



「オーダーセミナー」のご相談を承ります。

職場やグループ単位での独自研修会「オーダーセミナー」の企画立案のお手伝いをいたします。下記「学務援助課」までお問い合わせください。

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
〈厚生労働省所管〉近畿職業能力開発大学校附属
滋賀職業能力開発短期大学校(滋賀職能大)
www3.jeed.or.jp/shiga/college/

〒523-8510 滋賀県近江八幡市古川町1414

学務援助課 TEL: 0748-31-2254
FAX: 0748-31-2255

| 地区別 会員数 | 支部 | 大津 | 湖南 | 甲賀 | 湖東 | 彦根 | 湖北 | 高島 | 湖西滋賀 | 計 |
|----------------|----|-----|-----|----|-----|----|-----|----|------|-----|
| | 1月 | 204 | 147 | 80 | 104 | 82 | 134 | 64 | 24 | 839 |
| | 2月 | 202 | 146 | 80 | 103 | 82 | 134 | 64 | 24 | 835 |
| 令和2年 2月1日現在 | 差引 | ▲ 2 | ▲ 1 | 0 | ▲ 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | ▲ 4 |

3月の暦

| | | | | | |
|---------|-----------------|------------------|----------------------|---------|--|
| 1 日 友引 | | 12 木 先勝 | | 25 水 仏滅 | |
| 2 月 先負 | | 13 金 友引 | | 26 木 大安 | 四役会 理事会 「改正民法が建築士に与える影響等に関する説明会」 「総合図作成ガイドライン」 解説講習会 |
| 3 火 仏滅 | 情報広報委員会 | 14 土 先負 | | | |
| 4 水 大安 | | 15 日 仏滅 | | 27 金 赤口 | |
| 5 木 赤口 | 第3回定期講習(建設会館) | 16 月 大安 | | | |
| | | 第3回監理技術者講習(建設会館) | 17 火 赤口 | | 28 土 先勝 |
| 6 金 先勝 | 青年委員会 あーぎ塾VOL.3 | 18 水 先勝 | | 29 日 友引 | |
| 7 土 友引 | Do81 女性委員会 | 19 木 友引 | | | |
| 8 日 先負 | | 20 金 先負 | 春分の日 女性委員会主催 全員会議 | 30 月 先負 | |
| 9 月 仏滅 | | 21 土 仏滅 | | 31 火 仏滅 | |
| 10 火 大安 | | 22 日 大安 | | | |
| 11 水 赤口 | 四役会 四役委員長会議 | 23 月 赤口 | | | |
| | | 24 火 先負 | | | |

滋賀 万葉の旅 第10回

—額田王の長歌—

霊石山薬師寺の開基は、天文22年（1553年）清水神社の神宮寺として建立されました。ご本尊は、比叡山根本中堂と同じ木造薬師如来坐像（平安の頃、薬師寺の前身で、この地にあったと思われる薬王寺のものかと）で、東近江市の文化財に指定されています。

八日市地区まちづくり協議会 より

